



中学校保健体育科で「がんを知る」出前授業

～大阪南がん教育プロジェクト くすのきとの連携～

河内長野市教育委員会は、2年前から市内中学校の保健体育科の授業に、「大阪南がん教育プロジェクトくすのき」(大阪南医療センター)の医師、看護師、薬剤師、検査技師、心理士、ソーシャルワーカー、栄養士などを招いて、医療の現場経験を生かした出前授業を実施している。全国でも、中学校保健体育科の授業の一貫として実施しているのは本市のみ。

死因の第1位であり、生涯のうち約2人に1人がかかると推測されているがんは、国民の生命と健康にとって重大な問題となっている。厚生労働省の「がん対策推進基本計画」の中でも、健康については子どもの頃から教育することが重要であり、健康と命の大切さについて学び、自らの健康を適切に管理し、がんに対する正しい知識とがん患者に対する正しい認識を持つよう教育することを目指している。そこで、地域がん診療連携拠点病院である大阪南医療センターと連携して、子どもへのがん教育を目的として、この出前授業「がんを知る」を実施している。

授業内容は、実際のがんの手術の映像や、医療チームでがんの治療について話し合っている画像、不安を相談している患者さんの声、がんの予防についてなど、子どもたちは、現場の第一線で働く人からの話を毎年、興味深く聞き、学んでいる。

河内長野市のがん検診受診率は大阪府の中で低い位置にある。中学生から、がんの予防などの正しい知識を知り、がんと闘っている人のことが理解できるようになればということも願いもこめ、今後も中学校にて出前授業を実施していく。

日時：平成27年2月6日(金) 午後1時20分～ 5限目

午後2時20分～ 6限目

場所：河内長野市立美加の台中学校

対象：中学3年生2クラス60名

問い合わせ 河内長野市教育委員会学校教育課 (☎0721-53-1111)